

令和7年度

学校評価

(学校関係者評価)

山梨市立後屋敷小学校

《 学校評価について 》

【 学校教育法 】

- ・学校は、学校評価を行うと共に、その結果に基づいて学校運営の改善を図り、教育水準の向上に努めること(第42条)
- ・保護者・地域住民等の関係者による理解の深化と連携・協力の推進に資するよう、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する(第43条)

【 学校教育法施行規則 】

- ・自己評価を行い、その結果を公表すること(第66条)
- ・保護者その他の関係者による評価を行い、結果を公表するように努めること
(第67条)
- ・評価結果を設置者(市教育委員会)に報告すること(第68条)

【 学校評価ガイドライン(文部科学省) 】学校評価の目的

- ・学校運営の組織的・継続的な改善
- ・説明責任の履行と学校・家庭・地域の連携、協力
- ・教育委員会による支援、条件整備等の改善

《 本校における学校評価の実施手順 》

① 自己評価

- ・評価項目 → 校長を中心に職員会議で確認 → 策定
- ・教職員による評価の実施(12月)
- ・保護者アンケートの実施(12月)
- ・自己評価書を作成(1月～)

② 学校関係者評価

- ・保護者、地域住民が、自己評価の結果を踏まえて評価
- ・本年度の実施→学校運営協議会委員7名による評価
- ・実施期間 令和8年2月13日(金)

③ 評価結果の設置者への報告 山梨市教育委員会へ(3月)

	アンケート内容	緑・児童	水色・保護者	ピンク・教員	今年	昨年	一昨年	○考察 ●改善方策 4段階評価
健やかな体の育成	あなたは、進んで運動したり外で遊んだりしていますか。				3.6	3.4		○健康指導を通して子どもたちが健やかに生活できるよう努めることができた。今後も一人ひとりの成長に寄り添い、健康指導の質をより一層高めていく。
	子供は、進んで運動したり外で遊んだりしている。				3.2	3.2		
	学校は、子どもの体力作りや健康作りに励むよう取り組んでいる。				3.1	3.2		
	感染症や熱中症など十分配慮して対応している。				3.8	3.9	3.8	
	体力・健康・食に関する指導に努めている。				3.6	3.4	3.3	
毎日の学校生活が明るく元気に過ごせるよう保健・安全の配慮がされている。				3.8	3.6	3.6		
確かな心の育成	あなたは、楽しく学校へ通っていますか。				3.5	3.4	3.4	○児童が学校生活を楽しみながら周囲と協力することができている点では、豊かな心の育成が図られている。 ●あいさつについては、まずは学校内で、児童が自発的にを行う場面を意図的に創出し、主体的な態度の育成をしていく。教員も積極的にあいさつをするようにする。 ●いじめの対策として、アンケートや心の健康観察を行っている。学校と家庭とで、協力体制を築き、早期発見につなげる。
	あなたは、進んであいさつや返事をしていますか。				3.3	3.5	3.2	
	あなたは、いじめをせず友達と協力し、仲良くしていますか。				3.6	3.4		
	あなたは、友達や先生に自分の考えや気持ちを素直に伝えることができますか。				3.2	3.2		
	子供は、楽しく学校へ通っている。				3.6	3.3	3.4	
	子供は進んであいさつや返事をしている。				2.9	2.8	3	
	子供は、いじめをせず友達と協力し、仲良くしている。				3.5	3.4	3.5	
	子供は、友達や先生に自分の考えや気持ちを素直に伝えることができる。				2.9	2.8		
	学校は、思いやりの心や規則を守るなど、しなやかな心の育成に努めている。				3.1	3.2		
	学校は、いじめや不登校など心身の問題に関して早期発見や解決に努めている。				2.7	3.1		
	読書活動や体験活動・文化芸術活動を通し、情操豊かな潤いのある指導の充実を心がけている。				3.3	2.9		
特別の教科道徳の充実や、家庭・地域と連携したしなやかな心の育成を図ることで、道徳性や自己肯定感を育てている。				3.2	3			
児童理解を深め、いじめや不登校などの心身の問題の早期発見、早期対応に努めている。				3.5	3.6	3.5		
心身の健康を保障し児童にとって良い環境である。				3.5	3.2	3.4		

確かな学力の育成	あなたは、勉強するのが楽しいですか。	3.0	3	3.1	○集団での活動には前向きに取り組み、友達と協力することは楽しんで行える児童が多いようだ。 ●「学習が楽しい」と感じているとの評価が低い。「学ぶ楽しさ」を十分に伝えられていない現状を反省し、今後は児童の興味に寄り添った、学ぶ楽しさを実感のできるような授業づくりに力を入れていく。
	あなたは、自分で考え、進んで学習に取り組んでいますか。	3.2	3.3	3.2	
	あなたは、友達と協力して勉強するのは楽しいですか。	3.6	3.5	3.6	
	子供は、勉強が楽しいと感じている。	2.8	2.7	2.7	
	学校は、自信を育てる学習に取り組んでいる。	3.1	3.2		
	学校は、自ら学び、友達と協力して学習する指導をしている。	3.3	3.2		
	年間指導計画にしたがって、学習指導を行うことができている。	3.6	3.5	3.5	
	授業時数が確保できている。	4.0	3.6	3.5	
	指導方法を改善・工夫しながら取り組んでいる。	3.7	3.4	3.4	
	環境教育・福祉教育・国際理解教育、情報教育・キャリア教育の充実に努め、指導している。	3.3	3.2		
	指導のねらいを明確にし、基礎・基本を確実に定着させる授業実践をしている。	3.5	3.4	3.5	
	個に応じたきめ細やかな指導を工夫し、児童の良さや自信を育てる教科指導を心がけている。	3.7	3.2		
	指導と評価の一体化を図り、主体的で対話的で深い学びの視点から授業改善・学習評価を行っている。	3.3	3		
	支援を要する児童の実態に応じて、指導計画を立て指導方法や環境の工夫をしている。	3.3	3.1	3.2	
一人一台端末を授業に効果的に取り入れるなど、ICTを有効活用している。	3.5	3.1	3.3		
児童がお互いに認め合い、望ましい学年・学級集団に近づいている。	3.3	3.1	3.2		
進んで研究と修養を重ね、自己の資質及び能力の向上に努めている。	3.5	3.6	3.4		
家庭・地域との連携	学校は、保健・安全面に配慮し、子どもが明るく元気に過ごせるように努めている。	3.4	3.3		○お便りなどを通して、連携や共有が図られている。 ●地域人材を教育活動へより積極的に招き入れたりと、地域の素材を教材として有効活用したりする工夫が必要。年間指導計画に位置づけ、継続していけるようにする。
	授業参観や学校だよりなどは、子どもの様子を知る良い機会になっている。	3.8	3.5	3.6	
	学校は保護者・地域に丁寧に対応できている。	3.4	3.2	3.5	
	学校は、地域の人材等を生かした教育の推進に努めている。	2.5	3.2		
	家庭や、地域と信頼ある連携が図られている。	3.5	3.1	3.2	
	授業参観や学校だより、学校運営協議会だより等を活用し、情報の発信と共有が図れている。	3.6	3.3	3.2	
	地域素材の教材化及び家庭や地域社会の人材活用が有効に行われている。	3.4	2.9	3	
学校運営協議会を通して、学校と地域が結びつき、教育問題の改善が進められている。	3.6	3.4	3.4		
保護者や地域・保幼小・教育機関との連携に努め、相互に協力し合い児童の育成にあたっている。	3.5	3.1	3.5		
安全教育	あなたは、学校のきまりや交通ルールを守って生活していますか。	3.6	3.7		○ルールについて徹底できるいようようだ。 ●緊急時の対応に対する児童の自信がないようだ。今後避難訓練をより実践的な形式に見直し、成功体験を積ませることで、児童の「正しく動ける自信」を育む。
	あなたは、地震が起きた時や不審者にあつた時に、正しく行動できると思いますか。	3.5	3.6		
	子供は、学校のきまりや交通ルールを守って生活している。	3.5	3.5		
	子供は、地震が起きた時や不審者にあつた時に、正しく行動できると思う。	2.7	3		
生活安全、交通安全、災害安全について計画的に指導している。	3.7	3.4	3.4		
その他	教職員が互いに共通理解を図り、協働体制で学校運営の一翼を担っている。	3.6	3.5	3.6	
	働き方改革を踏まえ、学校行事などの精選や学校運営の軽減化に努めている。	3.8	3.7	3.5	

保護者記述 *原文のままですが、個人名は記してありません。

保護者意見	学校回答
楽しく行けているようです。いつもありがとうございます。	安心しました。もし、お子さまの様子に変化があったときにはすぐに教えてください。
先生が誰に何を怒ったか教えてくれるが、理不尽な対応もあり心配です。	ご心配をおかけしまして申し訳ございません。児童と関わる中で理不尽な対応はあってはなりません。万が一、そのようなことがあった場合はその時に学校へ教えていただけますでしょうか。事実を確認し改めていきたいと思えます。
校庭のまわりの柵が劣化していると思います。針金のサビや穴があいていたり、尖っている部分があり危険かな、と感じています。	ご意見ありがとうございます。フェンス、門、老木、その他校舎の設備、不審者対応は、予算が関わってくることで引き続き市と連携して行っていきます。防犯カメラにつきましては、「ここについています。」「ここについていません。」と記すことも防犯上問題となる心配もあります。物騒な事件が多発している昨今、防犯カメラにつきましては、市・地域・警察との連携がいっそう必要となってきます。現在、学校ができることを（不審者対応の避難訓練・見回り・安全点検・昇降口の施錠等）続けていきます。
防犯カメラは付いているのか知りたいです。防犯対策にどう努めているのか教えてほしいです。	
運動会のことですが…。3年生になってソーラン節をやるのを楽しみにしています。日本の伝統でもありカッコいい踊りだと思いますが、残念なことに衣装がせっかくの動きを殺してしまっているようにみえます。黒はカッコいいかもしれませんが、全体的に黒の面積が多すぎて暗く見えますし、子ども達の踊りの所作が映えるようなもっと軽やかな素材のものの方が見ていて、より良さが伝わると思えます。経費などの問題点も多々あるかとおもいますが、どうかこのタイミングで一度検討をお願いします。	楽しみにくださっていること、またご意見ありがとうございます。表現の内容（ソーラン節も含む）につきましては、その年度ごとに長時間かけて検討しております。今後も表現の内容はもちろんのこと、衣装につきましても、検討を続けていきます。
子供に聞いても普段の学校の様子、お友達の様子など細かい事がよくわからないのですが、個別懇談で先生から教えてもらったり、普段の様子は支援の先生から連絡帳で教えてもらっているの、読んで安心しています。そうやって情報共有させてもらえるとありがたいです。	ご意見ありがとうございます。個別懇談につきましてはご多用の中、年間2回、お時間を作っていただいておりますことに感謝いたします。学校での生活は1日の大部分を占めています。もちろんその時間は保護者様と離れている時間です。特に支援の必要なお子さまには、できる限りその日の様子をお伝えさせていただき明日につなげていきたいと考えております。今後もよろしく願いいたします。
登校班など、保護者に会っても挨拶しない児童が多い	ご意見ありがとうございます。挨拶に関しては、保護者様も教職員も地域の皆様も課題とされていることです。児童会のあいさつ運動の折には、大きな声が校舎内に響いていたので、決してできないわけではないと思えます。教職員が率先し、挨拶をする習慣を示し自ら挨拶をする子供たちを今後も育てていきます。ご家庭・地域でも挨拶のご協力をお願いいたします。
PTAの研修会(ピアノ)はとても良かったです。行事などは、縦割り活動もあるので面倒を見たり、責任感も持てるのでとても良いです。小さい学校なので、全ての先生が生徒と関わってくれるので有り難く安心して通えていると思います。あと、4ヶ月よろしくをお願いします！	教養部の研修会も楽しんでいただけて良かったです。研修部の皆様も安心されると思えます。休み時間は学年を超えて遊んでいる姿がほほえましいです。今後も「この学校だからこそできること」考えながら取り組んでいきます。
お友達に自分から遊ぼう！が恥ずかしくて言えないから一緒に遊べるか不安で学校に行きたくないと言っており、本人の努力次第なんです学校に行ける日が増えるといいなと思います。	様子を教えてくださいましてありがとうございます。保護者様の記述の通りだと思います。しかしそれだけではなく、周りの子供たちからも「一緒に遊ぼう！」の声があればもっともっと楽しい毎日になると思えます。これからもたくさんの「入れて」「いいよ」「一緒に遊ぼう」「ありがとう」があふれる後屋敷小学校となっていければと思っています。

<学校関係者評価> ～学校関係者のご意見・ご感想～

視点1 子供は進んで挨拶や返事をしている。(保護者回答)

- ・子どもたちは登下校中、人がいても挨拶をせず黙って通り過ぎていく。
- ・地域住民は、不審者と言われてしまうといけないので、なかなか挨拶しづらい。
- ・学校は、学校外で挨拶をしてくれる人は不審者ではないということを伝えていってほしいと思うが、その反面、難しさもある。理由は、挨拶のあと交流の一つである会話が始めれば、不審者と間違われる危険性もあるからである。
- ・地域で挨拶をすることは、顔をお互いに覚えてもらえる利点がある。
- ・子どもは、家庭では挨拶ができていても、学校では挨拶をしない子どもが多く、挨拶をしなくなっていることもある。
- ・子どもたちは、朝登校時、教室や玄関に入る際に、挨拶がかわせる環境があると良い。
- ・児童会が行なっている挨拶運動週間は、挨拶が活発にできるので、その習慣だけでなく、挨拶が習慣化されると良い。
- ・校内では、日中も「こんにちは」の挨拶ができるように広がってきている。
- ・以前は、高学年の子どもたちが挨拶をするのをみて、低学年も挨拶をしていた。高学年の意識を変えていけたら低学年も後に続くのではないか。
- ・まずは校内で挨拶ができるようになってから、それが拡大し、地域でも挨拶ができるようになるのではないか。

視点2 学校は、いじめや不登校など心身の問題に関して早期発見や解決に努めている。(保護者回答)

- ・アンケートや心の健康観察などを行なって、防止していることを初めて知った。どんな取り組みをしているのかを、学校から家庭や地域に発信していったらどうか。
- ・いじめを学校任せにしている家庭も少なからずあるのではないか。
- ・学校に任せただけでなく、家庭で会話をすることで、早期解決につながる。
- ・まずは、保護者と学校が関係を構築していくことが大切である。
- ・家庭への連絡が細か過ぎると感じることもある。学校は、そんなに家庭に気を使わないでもよいのではないか。
- ・学校評価の保護者回答率が3分の2であった。保護者の関心が少ないか、またはマチコミで回答依頼の通知を配付しているので、回答することを忘れてしまっていることもある。今後、通知や連絡は、紙との併用を考えていくのも良いのではないか。
- ・マチコミの情報が多い。現在も重要な書類にマークを付けるなどしているが、受け取る保護者には伝わりにくい。回答が増える対策をもっとしてほしい。

視点3 学校は、地域の人材等を生かした教育の推進に努めている。(保護者回答)

- ・どの学年がどの学習で活用していくのかを教育課程に位置づけていくとよい。そのことで、継続していきける。継続していくことで、人材の確保につながるのではないか。
- ・第一回目の運営協議会の中で、どのような方に来てほしいとお願いをし、人材をさがしてもらうことも可能ではないか。
- ・子供と地域のふれあいは互いにとって大切である。
- ・地域の人材が授業に入ると、より個別指導ができるのではないか。

- ・学校として、昔の地域のことを伝えていただくなど、専門的なことを知っている方を紹介してほしい。
- ・地域の人材が授業に入ると、特別な授業になる。

視点4 子供は、勉強が楽しいと感じている。(保護者回答)

- ・保護者のポイントは低く、子供のポイントが高いので心配がないのではないかな。
- ・保護者の勉強をしてほしいとの願いが反映されたポイントなのではないかな。
- ・子どもの評価は保護者に比べて高い。子ども自身が、楽しいと言っているので問題はないと思う。

視点5 子供は、地震が起きた時や不審者にあった時に、正しく行動できると思う。(保護者回答)

- ・学校が訓練を行っているのはわかっているのに、点数がなぜ低いのか。保護者が、関わる訓練が少ないからではないかな。
- ・様々な訓練を学校が行っているようなので、どのような訓練をどのように行っているのかを、保護者に周知していくとよいのではないかな。
- ・知識を伝えること、訓練を繰り返すことでの確かな行動ができるようになる。
- ・訓練を重ねることで、課題がでる。その課題を解決していくことでステップアップになる。
- ・市などと連携をしていくとよいのではないかな。
- ・東日本大震災のときに、中央線の踏切がしまっていたこと。グラウンドの照明が激しく揺れていたこと。ブロック塀が倒れていたこと。実際にはそのようなこともないと想定しておく必要である。
- ・地域では、ブロック塀などをなくすように改善をつとめている。